

ハイビームを上手に活用しましょう

夜間の交通事故を防ぐためには、歩行者や障害物などをいち早く発見することが大切です。

そこで、**ハイビーム(上向きライト)**が効果を発揮します。

ハイビーム = 上向きライト

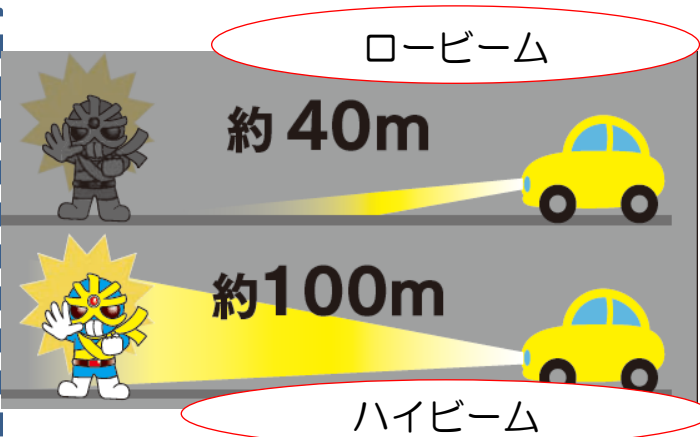
ロービーム = 下向きライト

本年9月末までに夜間帯で発生した四輪の関係する交通死亡事故の内、ハイビームの活用は1件もありませんでした。

ハイビームとロービームの切り替えにより、ライトの届く範囲は約60mも違います。

(時速60kmで走行する車が停止するには最低でも約40m必要)

→ ハイビームは、遠い距離でも一早く道路状況が分かります。



《ワンポイントアドバイス》

- ・前走車や対向車がない場合はハイビームを積極的に活用しましょう。
- ・前に車が走っていたり、対向車が走ってきた場合は、まぶしくないように、ロービームに切り替えましょう。
- ・昼間より速度を落とし、安全運転をしましょう。

夜間は、より遠くまで照らせる

「ハイビーム」

を上手に使い、安全運転に努めましょう。

発行 広島県警察本部交通部交通企画課



ハイビームの
紹介動画はこちら